

令和7年度 企画交流会 プログラム ※ハイブリッド開催

【テーマ】 意思決定支援の交流会

～急性期・回復期・在宅などそれぞれの立場で看護アドボカシーを実践しよう～

【開催日程】 令和7年9月26日（金） 13:00～14:30 203 研修室

【目的】 急性期・回復期・在宅など立場が異なる看護職が連携し、非がん患者への看護アドボカシーの実践を通して、看護師の役割や機能を考える。また、切れ目のない仕組みづくりについての示唆を得る。

	プログラム	時間
1	オリエンテーション	13:00～13:05
2	イントロダクション 「看護アドボカシー」とは？	13:05～13:10
3	テーマ：「心不全患者の意思決定支援－急性期病院の立場から－」 講 師：平島 洸氏（福岡赤十字病院 看護師）	13:10～13:25
4	テーマ：「利用者の思いをかなえるためには－重度認知症利用者の意思決定支援」 講 師：高島 幸子氏（介護老人保健施設ささぐり浜江苑 看護総師長）	13:25～13:40
5	テーマ：「透析を選択しなかった末期腎不全在宅療養者への支援」 講 師：小原 尚美氏（訪問看護ステーション「くるめ」 看護係長）	13:40～13:55
6	ディスカッション（質疑応答を含む）	13:55～14:25
7	アンケート入力	14:25～14:30

令和7年度 意思決定支援の 交流会

～急性期・回復期・在宅などそれぞれの立場で
看護アドボカシーを実践しよう～

急性期・回復期・在宅など立場が異なる看護職が連携し、非がん末期（心不全・透析拒否）や認知症の高齢者などの話題提供を通して、切れ目のない意思決定の実践について語り合う

※詳細は下記QRコードからご参照ください

開催日時： 9月26日(金) 13:00～14:30

開催場所： 福岡県看護協会 ナースプラザ福岡 203研修室

対象者： 訪問看護師、病院看護師、施設看護師

定員： 100名

参加費： 1000円

申し込み期限： 9月11日（木）

開催方法： 会場参加 オンライン参加のどちらかを選べます

主催： 福岡県看護協会 在宅支援・訪問看護委員会



研修の詳細・お申し込みは
看護協会webサイト「manaable」から

＜お問い合わせ＞ 福岡県看護協会事業課

☎092-402-1517